

標高差に着目 ～垂直ゾー

＜施策展開＞

＜ゾーン区分＞

【山岳・高原ゾーン】



(駒ヶ岳 八丁坂の登山道)



(上高地 穂高連峰)

- 原始的な自然や優れた自然環境を、そこに生息する野生動植物の性の保全に取り組みます。
- 保全とのバランスを考慮した適正ど地域の観光振興に資するよう国一リズムの推進に取り組みます。

【中山間地ゾーン】



(姨捨の棚田)



(なべくら高原のフナ林)

- 豊かな自然環境を活かした体験学図ります。
- 豊富に存在する水資源や森林資源大に取り組みます。
- 農地の適切な管理、森林資源の循害への対応などにより、集落を維持・発揮させるとともに、美し
- 水源地帯の森林の適切な維持管理

【市街地ゾーン】



(屋根での太陽光発電)



(EVと充電設備)

- 建築物の屋根での太陽光発電の普ルギー利用を進めるとともに、建交通への転換促進等を通じ、都市くりに取り組みます。
- 水質や大気環境等の維持・改善にます。
- 飲食店などと連携した食品ロスのみます。

(「上高地 穂高連峰」・「姨捨の棚田」・「なべくら高

した施策の展開 ニング～

の考え方>

行為規制等により適正に保全するととも
保護や外来種対策などにより、生物多様

な利用を基本としつつ、登山道の整備な
内外の利用者の受入環境の整備やエコツ

習などを通じ、県民の環境意識の向上を

を活用し、再生可能エネルギーの利用拡

環利用や森林の適切な整備、野生鳥獣被
持し、農山村や森林が持つ多面的機能を
い里山景観の保全・創出を図ります。

等を通じ、水源の^{かん}涵養に取り組みます。

及や、下水熱等の市街地に存在するエネ
物の省エネルギー対策、自動車から公共
活動による環境への負荷が小さいまちづ

取り組み、県民の生活環境の保全を図り

削減を進め、更なるごみ減量に取り組み

原のブナ林」の写真提供：長野県観光機構

<長野県の特徴>

【山岳・高原】

- 全国1位 3,000m級の山 15座
- 全国3位 自然公園（国立・国定・県立）の面積 278,549ha
- ユネスコエコパークの登録数 2箇所（志賀高原・南アルプス）
- ジオパークの認定数 2箇所（南アルプス・苗場山麓）

【生物多様性】

- 全国1位 チョウの生息数 149種（H8.5/「信州の蝶」）
- 全国初 生物多様性を社会全体で守る「生物多様性保全パート
ナーシップ協定」構築（H27）

【森林】

- 全国3位 森林面積 106万ha（H29）
- 全国1位 森林セラピー基地等の数 10箇所（H29.4）

【景観】

- 全国1位 「日本の棚田百選」16箇所（H11.7/農水省）

【水資源】

- 「名水百選」選抜総選挙
「観光地として素晴らしい名水部門」（H27.3/環境省）
第1位 安曇野わさび田湧水群
- 「名水百選」選抜総選挙
「景観が素晴らしい名水部門」（H27.3/環境省）
第1位 安曇野わさび田湧水群
- 小水力発電の導入ポテンシャルの高さ（H22/環境省）
 - ・農業用水 地点数：全国5位 設備容量：全国7位
 - ・河川部 地点数：全国2位 設備容量：全国6位

【低炭素】

- 全国3位 1世帯当たり住宅用太陽光の普及 0.38kw/世帯
（H29.2）
- 全国初 民間事業者による流域下水道管からの熱利用
（H30～）

【大気環境】

- PM2.5の環境基準 7年連続達成（全国で長野県のみ）
（H22～28）

【廃棄物】

- 全国1位（2年連続）1人1日当たりのごみ排出量の少なさ
（836g）（H26～27）